

畑野町の人口（9月1日調べ）
人口 1,817人 男 910人
女 907人
世帯数 969世帯

はたの

令和3年10月15日 発行
第546号 / 畑野町自治会



TEL/FAX (0771) 28-2752
Email: jichi-hatano@nike.eonet.ne.jp
http://www.hatano.kameoka-city.org/

秋の深まりを 畑野の自然から感じる季節

日ごとに秋の深まりを感じる十月。空気が澄みわたり、突き抜けるような青空が広がる爽やかで過ごしやすい季節となりました。この時期は、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋といろんなことにチャレンジして、楽しみ、元気を回復する季節でもあります。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言がようやく解除となりましたが、まだまだ終息したとは言いきれず感染予防対策は継続して必要です。対策をしっかりとして、アウトドアで畑野の郷の秋の深まりに親しんで、リフレッシュしてみたいかがでしよう。残念ながら今年も、町民運動会やフェスティバル、農業祭が中止となり、町民がつい楽しむ機会がなくなりますが、各自で活動いただきますようご理解をお願いします。

十月三十一日は 衆議院議員総選挙の投票日

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が、十月十九日に公示、三十一日（日）に投票の日程で執行されます。

畑野町の投票所は二か所で、千ヶ畑、広野、高橋にお住まいの方は「畑野町公民館（第十四投票所）」が、土ヶ畑に住まいの方は「土ヶ畑区公民館（第十五投票所）」が投票所となります。

投票時間は、午前七時から午後八時までです。また、当日投票が出来ない方は、期日前投票ができます。期日前投票は、亀岡市役所市民ホールで、十月二十日（水）から十月三十日（土）までの午前八時三十分から午後八時まで、いつでも投票できます。

選挙への投票行動は、国民の参政権行使の第一歩です。安全で安心して暮らせる畑野町のまちづくりのためにも政治に関心をもって投票するようにしましょう。



「赤い羽根共同募金」にご理解・ご協力を

様々な地域福祉活動に役立てられている「赤い羽根共同募金」が十月一日から始まっています。社会環境が変わっていく中にあっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようさまざまな地域福祉活動が実施されてきました。しかし昨年からの新型コロナウイルス感染が長期化して、これまでの福祉活動を休止している状況が続いて、居場所を失い孤立を深めている人や喋る機会が少なくなっている生活のハリを失くした人などさまざまななかたちで困っている人が増えています。

こうした状況下にあつて、失いかけている絆・つながりを取り戻し、日々の生活を支える活動が実施されるよう「コロナ感染下での福祉全国キャンペーン」として募金活動が実施されています。

畑野町自治会もこの趣旨に賛同して、募金活動に取り組んでいます。各区の役員さまを通じてお願いに伺いますので、ご理解・ご協力をお願いします。

「救急安心センターきょうと」のご案内

急なけがや病気をした時に救急車を呼ぶべきか、病院受診が必要か、様子を見るべきかなど判断に迷ったときに看護師等から電話でアドバイスを受けることができる救急電話相談窓口「救急安心センターきょうと」が開設されました。利用者が電話で「#7119」にダイヤル（繋がらない場合は「0570-00-7119」）

三六五日、二四時間待機する看護師等が、相談内容から緊急性が高いと判断された場合は迅速な救急出動につなぎ、緊急性が低いと判断された場合は受診可能な医療機関や受診のタイミングについてアドバイスをを行なってもらえます。



「畑野健康ふれあいセンター」の使用注意

八月から発出されてきましたコロナ緊急事態宣言がようやく解除されましたが、「畑野健康ふれあいセンター」の使用にあたっては引き続き感染防止対策の徹底をお願いします。既にワクチンを接種している方への感染（ブレイクスルー感染）も発生していますので、室内でも必ずマスクの着用をお願いします。

今般新たに、二酸化炭素（CO₂）モニターを設置しました。室内が密になり二酸化炭素が高まりますとアラームが鳴りますので、窓を開ける等換気をお願いします。

クマの出没に注意を！

最近、亀岡市内でもクマの目撃情報が寄せられています。特に、クマが冬眠に入る前の時期、柿や栗、銀杏を食べに里へ下りてくることが増えているようです。注意してください。

もしクマを目撃したり、クマの形跡を見つけたら、亀岡市役所 農林振興課鳥獣対策係（電話 2.515.094）まで通報してください。

もしクマに出会ってしまったら、声を出さずにクマから目を離さず、ゆっくりと後退する。絶対に走って逃げない。クマは逃げる者を追いかける習性があるので大変危険です。

万一クマが襲ってきた場合は、頭部を守るために自分の首を両手でしっかりと抱えてうすぐまり、クマの攻撃を防ぐ。

朝夕はクマの活動が特に活発になるので、山に近づくことはできるだけ避ける。山に入る際には、クマに自分の存在を知らせるよう、鈴やラジオで音を出しながら行動する。

フェスティバル in 畑野を中止します

毎年十一月二三日に小学校と合同で開催しています「フェスティバル in 畑野」&「農業祭」を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年は中止することとします。